

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年2月7日
【四半期会計期間】	第118期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	プレス工業株式会社
【英訳名】	PRESS KOGYO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 美野 哲司
【本店の所在の場所】	川崎市川崎区塩浜一丁目1番1号
【電話番号】	044(266)2581(代表)
【事務連絡者氏名】	上席執行役員 唐木 剛一
【最寄りの連絡場所】	横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号 横浜ランドマークタワー27階
【電話番号】	045(640)1320(経理部直通)
【事務連絡者氏名】	上席執行役員 唐木 剛一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第117期 第3四半期 連結累計期間	第118期 第3四半期 連結累計期間	第117期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年12月31日	自2019年4月1日 至2019年12月31日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (百万円)	167,540	154,583	220,661
経常利益 (百万円)	10,597	4,807	13,661
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	5,952	2,157	7,567
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	6,422	2,876	8,396
純資産額 (百万円)	92,240	93,482	94,214
総資産額 (百万円)	158,946	153,578	159,073
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	54.42	19.78	69.10
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	54.0	56.2	54.8

回次	第117期 第3四半期 連結会計期間	第118期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年10月1日 至2018年12月31日	自2019年10月1日 至2019年12月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	20.45	6.28

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの国内事業環境は次のとおりであります。

自動車関連事業においては、普通トラックの国内需要は前年同期比1.7千台増の67.7千台となり、小型トラックの国内需要は前年同期比1.2千台減の77.3千台となりました。輸出は普通トラック・小型トラック共に前年同期に比べ減少いたしました。

建設機械関連事業においては、油圧ショベルの国内向けは増加いたしました。輸出は前年同期に比べ減少いたしました。

海外の事業環境は、次のとおりであります。

タイ：1トンピックアップトラックは、輸出は減少したもののタイ国内販売が堅調に推移し前年同期と同水準となりました。

米国：ピックアップトラック・SUVの需要は前年同期に比べ増加いたしました。

中国：建設機械需要は前年同期に比べ増加いたしました。

インドネシア：商用車需要は前年同期に比べ減少いたしました。

スウェーデン：欧州の自動車需要は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は、以下のとおりとなりました。

a. 財政状態

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ54億94百万円減少し、1,535億78百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ47億62百万円減少し、600億96百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億31百万円減少し、934億82百万円となりました。

b. 経営成績

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,545億83百万円（前年同期比7.7%減）となり、営業利益は47億16百万円（前年同期比55.5%減）、経常利益は48億7百万円（前年同期比54.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は21億57百万円（前年同期比63.7%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（自動車関連事業）

当社グループの普通トラック用部品の生産・売上高は、国内向けは前年同期に比べ増加いたしました。輸出向けは完成車・ロックダウン部品共に減少いたしました。小型トラック用部品の生産・売上高は、国内・輸出向け共に前年同期に比べ減少いたしました。

海外子会社の状況は、次のとおりであります。

タイ：THAI SUMMIT PKK CO.,LTD.、THAI SUMMIT PKK ENGINEERING CO.,LTD.、THAI SUMMIT PKK BANGPAKONG CO.,LTD.及びTHAI SUMMIT PK CORPORATION LTD.の生産・売上高は輸出減の影響により、前年同期に比べ減少いたしました。

米国：PK U.S.A., INC.の生産・売上高は一部メーカーの販売台数減少により前年同期に比べ減少いたしました。

インドネシア：PT.PK Manufacturing Indonesiaの生産・売上高は中・小型トラック用フレームの生産減少に伴い、前年同期に比べ減少いたしました。

スウェーデン：PRESS KOGYO SWEDEN ABの生産・売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,324億87百万円（前年同期比5.2%減）となり、セグメント利益は70億25百万円（前年同期比38.3%減）となりました。

(建設機械関連事業)

当社及び株式会社協和製作所の生産・売上高は、台風によるサプライチェーンへの影響により、前年同期に比べ減少いたしました。

海外子会社の状況は、次のとおりであります。

中国：蘇州普美駕駛室有限公司 (PM CABIN MANUFACTURING CO.,LTD.) の生産は前年同期に比べ増加いたしましたが、為替の影響により売上高は減少いたしました。普莱斯工業小型駕駛室 (蘇州) 有限公司 (PRESS KOGYO MINI CABIN (SUZHOU) CO.,LTD.) の売上高は一部輸出向けの生産終了もあり、前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は228億9百万円 (前年同期比21.6%減)、セグメント利益は4億67百万円 (前年同期比77.1%減) となりました。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発費の金額は、2億円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	240,000,000
計	240,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年2月7日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	114,009,770	114,009,770	東京証券取引所市場第一部	(注)
計	114,009,770	114,009,770	-	-

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。単元株式数は100株であります。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日	-	114,009,770	-	8,070	-	2,074

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 5,608,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 108,314,400	1,083,144	-
単元未満株式	普通株式 86,970	-	-
発行済株式総数	114,009,770	-	-
総株主の議決権	-	1,083,144	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権10個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、自己株式22株が含まれております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) プレス工業(株)	川崎市川崎区塩浜 一丁目1番1号	5,608,400	-	5,608,400	4.92
計	-	5,608,400	-	5,608,400	4.92

(注) 当第3四半期会計期間末の自己株式数は、5,608,515株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,556	18,687
受取手形及び売掛金	1 38,778	1 35,423
商品及び製品	1,363	1,478
仕掛品	10,395	2 9,198
原材料及び貯蔵品	1,266	1,307
未収還付法人税等	193	66
その他	2,528	3,401
貸倒引当金	1	0
流動資産合計	73,080	69,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3 12,214	3 11,764
機械装置及び運搬具(純額)	3 21,020	3 19,411
土地	31,928	32,263
その他(純額)	3 9,070	3 9,230
有形固定資産合計	74,234	72,669
無形固定資産		
その他	516	521
無形固定資産合計	516	521
投資その他の資産		
繰延税金資産	625	577
退職給付に係る資産	2,445	2,589
投資その他の資産	8,321	7,734
貸倒引当金	150	76
投資その他の資産合計	11,241	10,825
固定資産合計	85,992	84,017
資産合計	159,073	153,578
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 27,996	1 26,171
短期借入金	9,162	8,279
未払法人税等	1,264	339
賞与引当金	3,592	2,097
引当金	147	85
その他	1 8,175	1 8,509
流動負債合計	50,338	45,482
固定負債		
長期借入金	2,905	2,349
繰延税金負債	1,581	1,746
再評価に係る繰延税金負債	7,601	7,601
引当金	101	85
退職給付に係る負債	1,587	1,919
資産除去債務	410	404
その他	331	506
固定負債合計	14,520	14,613
負債合計	64,858	60,096

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,070	8,070
資本剰余金	2,074	2,074
利益剰余金	56,957	57,586
自己株式	916	1,619
株主資本合計	66,186	66,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,319	1,979
土地再評価差額金	17,255	17,255
為替換算調整勘定	1,180	708
退職給付に係る調整累計額	214	299
その他の包括利益累計額合計	20,970	20,242
非支配株主持分	7,057	7,128
純資産合計	94,214	93,482
負債純資産合計	159,073	153,578

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	167,540	154,583
売上原価	145,680	138,887
売上総利益	21,860	15,696
販売費及び一般管理費	11,255	10,979
営業利益	10,604	4,716
営業外収益		
受取利息	22	36
受取配当金	165	178
固定資産賃貸料	48	49
為替差益	42	88
その他	41	34
営業外収益合計	321	387
営業外費用		
支払利息	262	251
その他	66	45
営業外費用合計	328	296
経常利益	10,597	4,807
特別利益		
固定資産売却益	12	6
保険差益	0	4
特別利益合計	13	10
特別損失		
固定資産除却損	53	31
固定資産売却損	0	0
災害による損失	207	-
特別損失合計	260	31
税金等調整前四半期純利益	10,350	4,786
法人税、住民税及び事業税	2,120	1,038
法人税等調整額	656	302
法人税等合計	2,777	1,341
四半期純利益	7,573	3,445
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,621	1,287
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,952	2,157

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	7,573	3,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	898	340
為替換算調整勘定	299	312
退職給付に係る調整額	46	84
その他の包括利益合計	1,151	568
四半期包括利益	6,422	2,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,785	1,429
非支配株主に係る四半期包括利益	1,636	1,446

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	14百万円	9百万円
支払手形	20	13
その他(設備支払手形)	1	4

2 損失が見込まれる受注契約に係るたな卸資産と受注損失引当金は、相殺表示しております。相殺表示したたな卸資産に対応する受注損失引当金の額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
仕掛品に係るもの	- 百万円	430百万円

3 圧縮記帳額

有形固定資産に係る国庫補助金及び保険差益による圧縮記帳累計額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
建物及び構築物	5百万円	5百万円
機械装置及び運搬具	645	645
その他(工具、器具及び備品)	0	0

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	7,255百万円	6,892百万円
のれんの償却額	150	-

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

配当金支払額

2018年6月28日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	651百万円
1株当たり配当額	6.00円
基準日	2018年3月31日
効力発生日	2018年6月29日
配当の原資	利益剰余金

2018年11月8日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	714百万円
1株当たり配当額	6.50円
基準日	2018年9月30日
効力発生日	2018年12月4日
配当の原資	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

配当金支払額

2019年6月27日の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	824百万円
1株当たり配当額	7.50円
基準日	2019年3月31日
効力発生日	2019年6月28日
配当の原資	利益剰余金

2019年11月7日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	704百万円
1株当たり配当額	6.50円
基準日	2019年9月30日
効力発生日	2019年12月3日
配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	138,538	27,062	165,601	1,939	167,540	-	167,540
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,168	2,033	3,201	-	3,201	3,201	-
計	139,707	29,096	168,803	1,939	170,742	3,201	167,540
セグメント利益	11,387	2,039	13,426	102	13,529	2,924	10,604

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 2,924百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 2,924百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車 関連事業	建設機械 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	131,652	21,047	152,700	1,883	154,583	-	154,583
セグメント間の内部売上高 又は振替高	834	1,762	2,596	-	2,596	2,596	-
計	132,487	22,809	155,296	1,883	157,180	2,596	154,583
セグメント利益	7,025	467	7,492	121	7,614	2,897	4,716

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、立体駐車装置事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 2,897百万円には、セグメント間取引消去13百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 2,910百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日)
1 株当たり四半期純利益	54円42銭	19円78銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	5,952	2,157
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半 期純利益 (百万円)	5,952	2,157
普通株式の期中平均株式数 (千株)	109,390	109,105

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

2019年11月 7 日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....704百万円

(ロ) 1 株当たりの金額.....6.50円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年12月 3 日

(注) 2019年 9 月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月7日

プレス工業株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 阿部 博 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 田中 徹 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているプレス工業株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、プレス工業株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。